

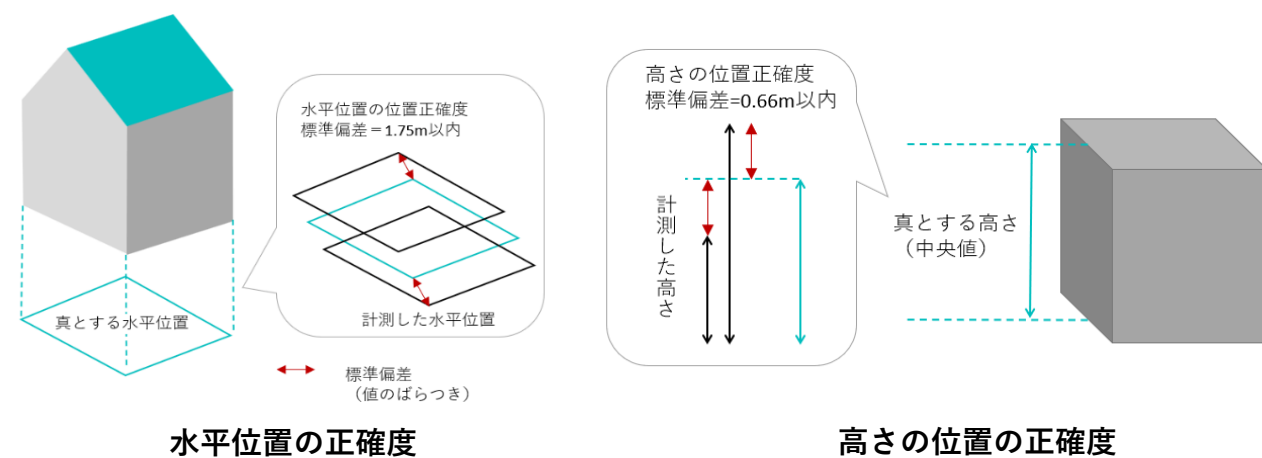
Q：3D都市モデルには、どんな情報が入っているか？

- ・建物モデルに関して、現在、「高さ」とハザード情報のみを持っています。
- ・今後、LOD1について用途・床面積・構造・建築年次といった情報を拡充する予定です。
- ・土地モデルに関しても、用途・面積の情報を持たせて公開する予定です。

Q：3D都市モデルはいつ時点の形状か？

- ・LOD1（箱モデル）
建物図形：都市計画基本図（2003年～2021年度）及び航空写真測量（2021年度）
計測高さ：航空写真測量（2021年度）
- ・LOD2（屋根や壁などを再現したモデル）
建物図形：航空写真測量（2021年度）
計測高さ：航空写真測量（2021年度）及び航空写真測量（2022年度）
建物テクスチャ：航空写真（2021年度）
- ・LOD3（屋根や壁の開口部などの詳細を再現したモデル）
建物図形：車載写真レーザ測量（2023年度）
計測高さ：車載写真レーザ測量（2023年度）
建物テクスチャ：航空写真（2022年度）及び多方向カメラ画像（2022年度）

Q：3D都市モデルの精度は？



Q：3D都市モデルを編集するために必要なソフトは？

- ・3D都市モデルを編集するためには、CityGML形式やFGDB（ファイルジオデータベース）形式に対応したソフトウェア（例：ArcGIS、QGIS、unityなど）が必要になります。
- ※閲覧のみであれば、京都市の閲覧サイトや、国土交通省のPLATEAU公式サイトから可能です。

Q：3D都市モデルを活用する際の許諾は必要か？

- ・3D都市モデルはどなたでも商用利用も含めて無料で自由にご利用いただけます。

出典の明記の例：「□□作成の○○」を使用しています

※□□：出典者名 ※○○：データセット・またはリーソース名

【3D都市モデルに関する問い合わせ・相談窓口】

京都市都市計画局まち再生・創造推進室（都市の未来創造第一担当 大西、山本、井上）

電話：075-222-3503

メール：machisai_mirai@city.kyoto.lg.jp

京都市
3D都市モデル

京都市では、まちづくりのデジタルトランスフォーメーションを進め、市民生活をより豊かにする価値あるサービスやアプリケーションの創出を目指し、3D都市モデルを公開しています。



3D都市モデルとは？

建築物、道路、土木構造物などの三次元形状や情報を盛り込んだ地理空間データです。国土交通省が進めるオープンデータ化プロジェクト“Plateau”に参画しています。

3D都市モデルの特徴

オープン
データ

誰でもデータをダウンロードして、編集可能です

建物の
属性情報を搭載

建物1つ1つに情報（用途・築年数など）が付与されています

京都市 3D都市モデル
ウェブサイト

【公式サイト】

<https://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000312935.html>



【ビューアー（閲覧サイト）】

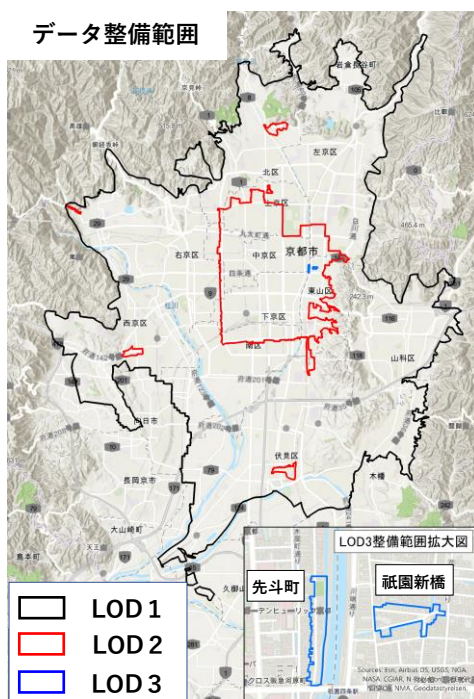
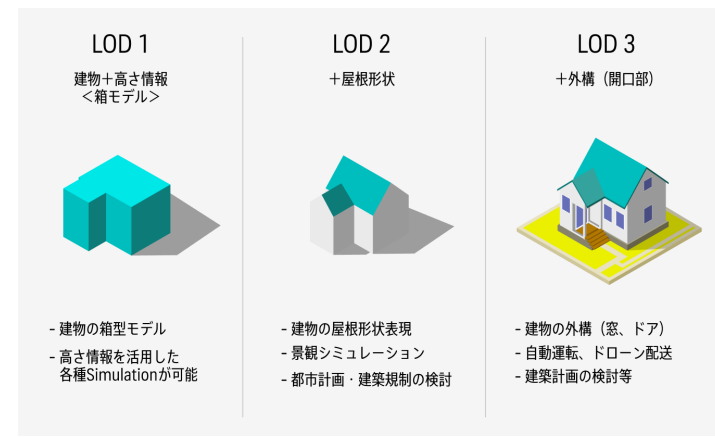
公式サイトからビューアーにアクセスできます



どんなデータが入っている？

3D都市モデルのデータ種類は以下の3種類です。
使い道に応じて表示の切替が可能です。

【3D都市モデルのデータ類型】



データのダウンロードはどこでできる？

【京都市オープンデータポータルサイト】

FGDB（ファイルジオデータベース）形式がダウンロード可能です

京都市オープンデータ

オープンデータポータルサイトのデータセット検索で「3D都市モデル」と検索

<https://data.city.kyoto.lg.jp/dataset/00661/>



【G空間情報センターサイト】

CityGML形式がダウンロード可能です

G空間

G空間情報センターの「3D都市モデルポータルサイト」にアクセス

<https://www.geospatial.jp/ckan/dataset/plateau>



歴史的町並みをLOD 3 で再現



祇園新橋



先斗町

建物や土木構造物を点群データで再現

建築物や土木構造物の点群データ化により、まちづくりや景観上のシミュレーションを精緻化、効率化する取組を進めています。



三条大橋

3D都市モデルの活用事例（ユースケース）

UseCase1：歴史・文化・営みを継承するメタバース体験の構築

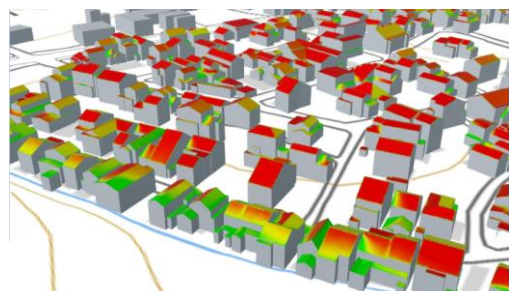
京都を代表する歴史的町並み（先斗町、祇園新橋）を散策しながら歴史や伝統、観光マナーを学べるほか、デジタルでしか見られない夜間景観などが体験できます。



ANA NEO 株式会社によるアプリケーション
【ANAGranWhale】
<https://www.ana-granwhale.com/index.html>

UseCase2：太陽光発電のポテンシャル推計・反射シミュレーション

建築物の屋根に太陽光パネルを設置した際の発電量と反射光のシミュレーションを実施することにより、太陽光発電の効率的な設置を目指します。



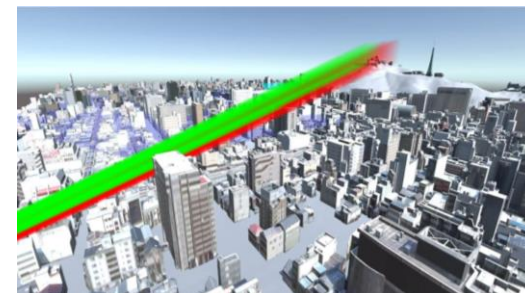
UseCase3：市民協働による樹木管理DX

市民協働により樹木データを収集し、データベースとアプリを構築。樹木のCO2吸収量等の生態系への寄与を評価するとともに、地域住民の環境意識向上を目指します。



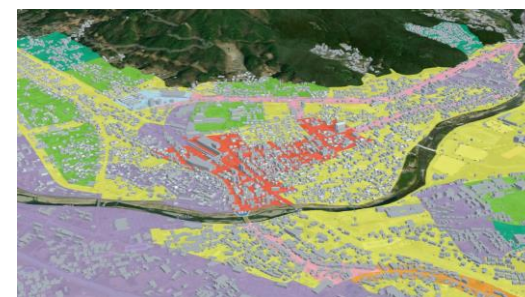
UseCase4：景観まちづくりDX

開発予定の建築プロジェクトを計画地に配置し、周辺景観との調和や眺望景観規制との干渉状況を確認することが可能とします。



UseCase5：都市空間に関する情報の集約による行政事務の効率化

多様な都市計画情報を3D都市モデルに集約し可視化するプラットフォームにより、デジタルソリューションによる官民の情報収集コスト低減を図ります。



UseCase6：物流ドローンのフライトシミュレーション

複雑な高層ビルが立ち並ぶ都心部を精緻に再現したバーチャル空間を活用し、ドローンの飛行ルートシミュレーションを可能としています。



ハッカソンを開催します！

- ・3D都市モデルの新たな開発アイデアを競い合うハッカソンを今年も開催します！
- ・理解を深めるトークセッションや3D都市モデルの体験会もあわせて開催。
- ・ハッカソンの最新情報は公式サイトにてお知らせします。皆様のご参加をお待ちしています！



【ハッカソンとは】
新たな価値を創出するオープンイノベーションの場として、アイデアと技術を持ち寄り、サービスやアプリケーション、コンテンツを短期集中的に開発し、成果を競い合う開発コンテストです。

「KYOTO PLATEAU HACK 2023」ハッカソン

【レポート】
<https://www.mlit.go.jp/plateau/journal/j050/>

【成果発表会動画】
<https://www.youtube.com/watch?v=fcwiNFn8x68>



PLATEAU公式サイトにおいても多様なジャンルのユースケースが紹介されています。

【project PLATEAUサイト ユースケースページ】 <https://www.mlit.go.jp/plateau/use-case/>

